デジタルカメラ

μ 810

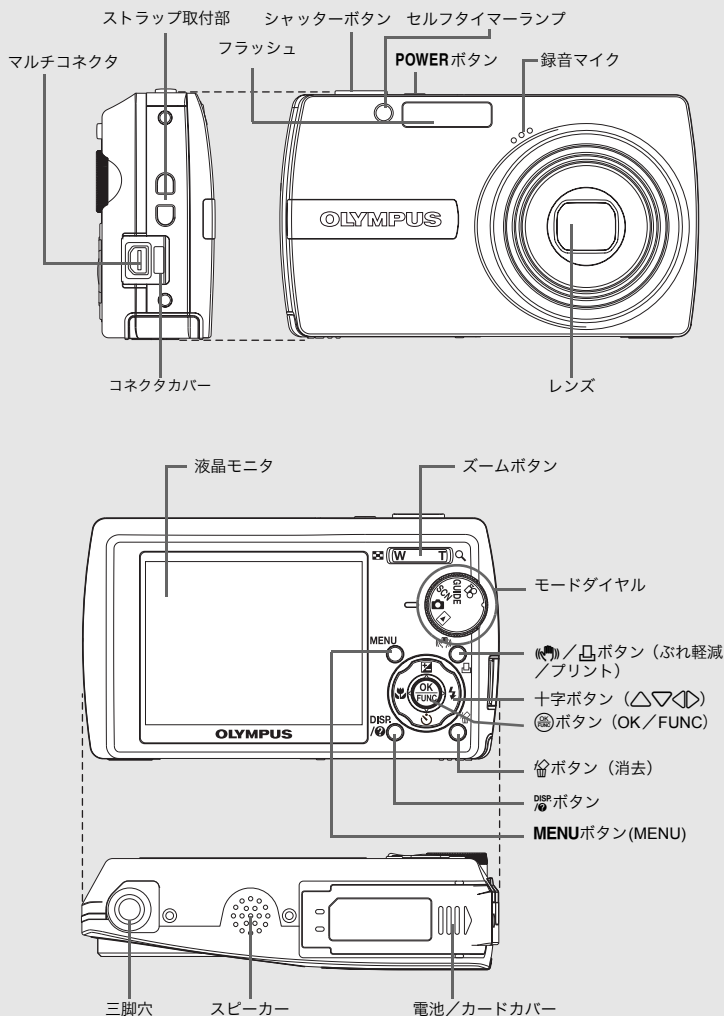
取扱説明書

基本編

もくじ

- オリンパス デジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。製品をご使用になる前に、カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。また、お読みになったあとは、必ず保管してください。
- 海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している液晶画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

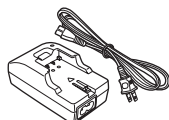
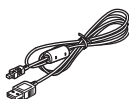
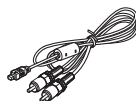
各部の名前

ストラップ取付部
シャッターボタン
セルフタイマーランプ
フラッシュ
マルチコネクタ
POWERボタン
録音マイク
OLYMPUS
コネクタカバー
レンズ
液晶モニタ
ズームボタン
W
T
GUIDE
SCN
モードダイヤル
MENU
OK
FUNC
DISP.
OLYMPUS
／ボタン（ぶれ軽減／プリント）
十字ボタン（△▽◁▷）
ボタン（OK／FUNC）
ボタン（消去）
ボタン
MENUボタン(MENU)
三脚穴
スピーカー
電池／カードカバー

ご使用の前に

箱の中身を確認する

デジタルカメラ

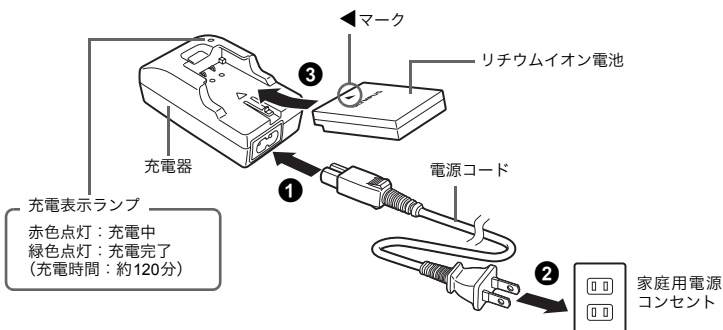
ストラップ

リチウムイオン電池
（LI-12B）

充電器（LI-10C）

USBケーブル

AVケーブル

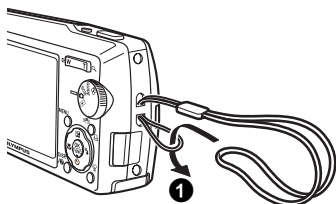
OLYMPUS Master
CD-ROM

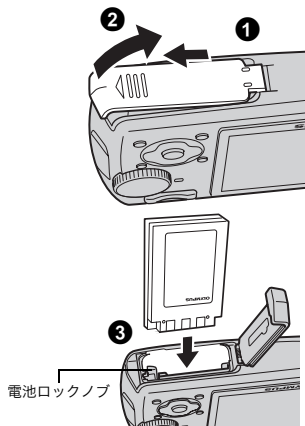
その他の付属品

- 取扱説明書 基本編（本書）
- 取扱説明書 応用編
- 保証書

電池を充電する

- お買い上げいただいた時、電池は完全には充電されていません。

1 準備する

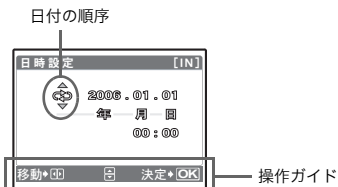
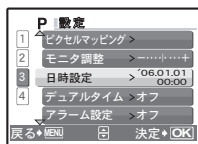
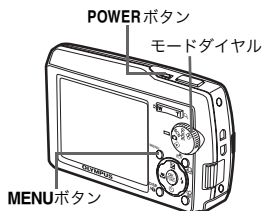
a. ストラップを取り付ける

- 少し強めに引っ張り、抜けないことを確認してください。

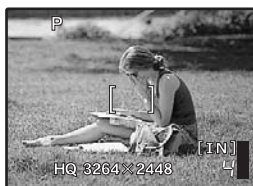
b. 電池を入れる

c. 日時を設定する

❶ **POWER**ボタンを押して電源を入れます。

❷ モードダイヤルを📷に合わせます。

❸ **MENU** ボタンを押してトップメニューを表示し、［設定］▶［日時設定］の順に選択します。

❹ 操作ガイドにしたがって、日付の順序、年、月、日、時、分を設定します。

2 撮影する

a. 構図を決める

b. ピントを合わせる

❶ AF ターゲットマークを被写体に合わせます。

❷ シャッターボタンを軽く押します。

- ピントと露出が固定されると、緑ランプが点灯します。

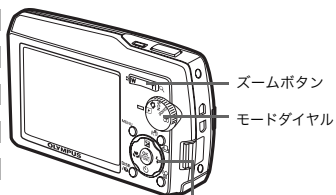
c. 撮る

❶ シャッターボタンを押し込みます。

- カメラの内蔵メモリに画像が記録されます。
- 別売の xD- ピクチャーカード（付属の取扱説明書ではカードと呼びます）を入れてカードに記録することもできます。

3 再生する／削除する

a. モードダイヤルを ▶ に合わせる

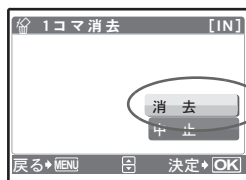
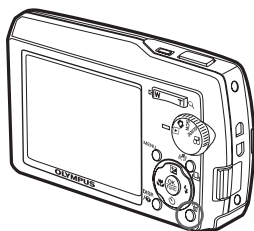
● 最後に撮影した画像が表示されます。

b. クローズアップ再生する

● T側を押すと10倍まで拡大（クローズアップ再生）され、W側を押すと縮小されます。

● ㊊を押すと元に戻ります。

● クローズアップ再生中に十字ボタン（△▽◁▷）を押すと、その方向に画像がスクロールします。

モードダイヤルを 📷 に合わせると撮影モードに戻ります。

c. 画像を削除する

❶ 削除する画像を表示します。

❷ 🗑ボタンを押します。

❸ ［消去］を選択して㊊を押します。

● 画像が消去されます。

4 撮った画像をパソコンで楽しむ

a. OLYMPUS Master をインストールする

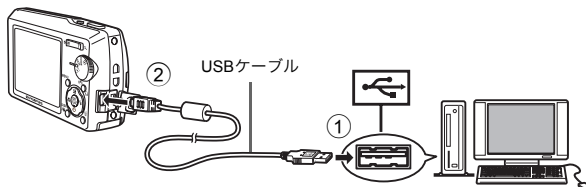
❶ CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM を入れます。

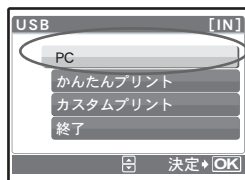
❷ **Windows:**「OLYMPUS Master」ボタンをクリックします。
Macintosh:「インストーラ」アイコンをダブルクリックします。

❸ 画面のメッセージに沿って操作を行ってください。

b. カメラをパソコンに接続する

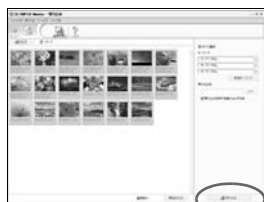
❶ USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。

● カメラの液晶モニタが自動的に点灯します。

❷［PC］を選択し、㊝を押します。

● パソコンがカメラを新しい機器として認識します。

c. カメラの画像をパソコンに保存する

❶ カメラが接続されると OLYMPUS Masterが起動して、［取り込み］画面が表示されます。

❷ パソコンに保存する画像を選択して［取り込み］ボタンをクリックします。

取り込み画面

［取り込み］ボタン

［取り込み］画面が表示されない場合

❶ OLYMPUS Masterのメインメニューで［画像を取り込む］ボタンをクリックします。

❷ ［カメラから］ボタンをクリックします。

ヒント

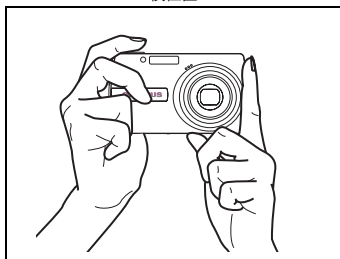
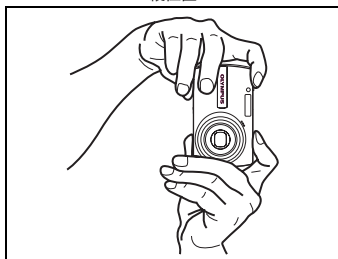
- このカメラのすべての機能や操作方法については、「取扱説明書 応用編」をご覧ください。
- OLYMPUS Masterの上記以外の機能や操作方法については、OLYMPUS Masterの「ヘルプ」および取扱説明書（PDFファイル）をご覧ください。

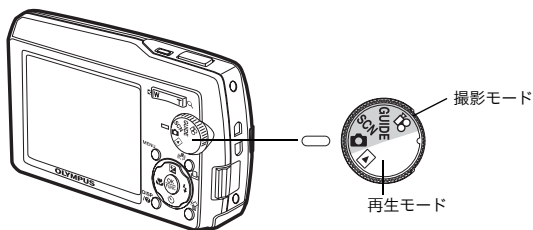
カメラの基本操作

カメラの正しい構え方

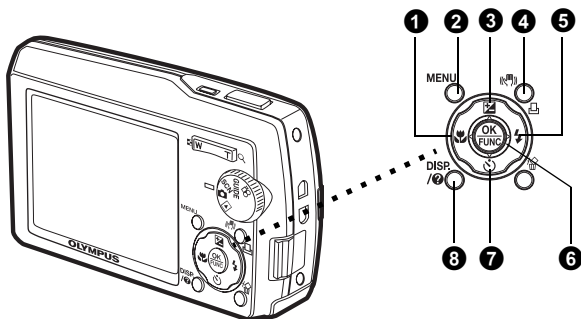
撮影した画像を見ると、被写体の輪郭がはっきりしないときがあります。このようなときはシャッターボタンを押し込んだ瞬間にカメラを持つ手がぶれたり、カメラが動いていることがあります。

このような失敗を防ぐために、カメラは脇を締めて両手でしっかり持ちましょう。カメラを縦位置で持つときは、フラッシュがレンズより上になるように持ちます。レンズとフラッシュに指やストラップがかからないよう、ご注意ください。

横位置

縦位置

モードダイヤル

目的のモードに合わせて電源を入れてください。電源を入れた後でモードダイヤルを変えることもできます。

撮影モード	📷	カメラが自動的に設定した状態で撮影します。
	SCN	撮影状況に合った撮影シーンで撮影します。
	GUIDE	画面に表示される撮影ガイドにしたがうと、目的の項目を設定できます。
	🎥	ムービーを撮影します。
再生モード	▶	静止画またはムービーを再生します。音声も再生できます。

撮影モードで使うボタン

撮影モードでよく使う機能を簡単に設定できます。

❶ **◁🌷ボタン（マクロ）**
近接した被写体を撮影するときは、マクロまたはスーパーマクロに設定します。

❷ **MENUボタン（MENU）**
トップメニューを表示します。

❸ **△☑ボタン（露出補正）**
露出補正値を設定して画像の明るさを変更します。

❹ **((✋))／凸ボタン（ぶれ軽減／プリント）**
ぶれ軽減モードのオン／オフを切り換えます。

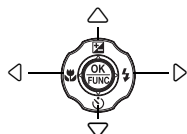
❺ **▷⚡ボタン（フラッシュモード）**
撮影状況や目的に合わせてフラッシュの設定をオート発光／👁赤目軽減／⚡強制発光／⚡発光禁止から選びます。

❻ **OK/FUNCボタン（OK／FUNC）**
ファンクションメニューが表示され、撮影モードでよく使う機能の設定ができます。またメニュー項目などの設定を確定するときに使います。

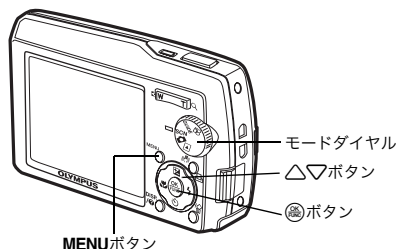
❼ **▽⏲ボタン（セルフタイマー）**
セルフタイマーを使って撮影します。シャッターボタンを押して12秒後に撮影されます。

❽ **DISP./?ボタン**
繰り返し押して、撮影情報や構図線、ヒストグラムの表示／非表示を切り換えます。
メニューを選択した状態で押すと、そのメニュー機能の説明が表示されます。

ヒント

付属の取扱説明書では十字ボタン（△▽◁▷）の方向を△▽◁▷で示しています。

SCNモード（シーン）

被写体にあわせて撮影シーンを切り換えます。

❶ モードダイヤルを**SCN**に合わせます。

❷ △▽を押してシーンを選択し、㊫を押します。

SCNの種類

- ポートレート
- 風景
- 風景&人物
- 夜景
- 夜景&人物
- スポーツ
- 屋内撮影
- キャンドル
- 自分撮り
- 寝顔
- 夕日
- 打ち上げ花火
- マナーショット
- 料理
- ガラス越し
- 文書
- オークション
- ショット&セレクト1
- ショット&セレクト2
- ビーチ&スノー

マクロ撮影

マクロ 被写体に30cmまで接近して撮影できます（光学ズームをもっとも広角にした場合）。

スーパーマクロ 被写体に10cmまで接近して撮影できます。ズーム位置は自動的に固定されて変更はできません。

❶ ◁🌷を押します。

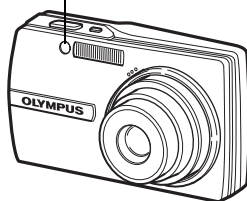
❷ △▽を押して［🌷マクロ］または［S🌷スーパーマクロ］を選択し、㊫を押します。

セルフタイマー撮影

❶ ▽を押します。

❷ △▽を押して［セルフタイマー　オン］を選択し、Ⓞを押します。

❸ シャッターボタンを全押しして、撮影します。

- セルフタイマーランプが約10秒間点灯し、さらに約2秒間点滅した後、シャッターが切れます。

フラッシュモード

❶ ▷を押します。

❷ △▽を押してフラッシュモードを選択し、Ⓞを押します。

❸ シャッターボタンを半押しします。

- フラッシュが発光する条件のときは、マークが点灯します（フラッシュ発光予告）。

❹ シャッターボタンを全押しして、撮影します。

フラッシュの到達距離

広角時：約5.2m

望遠時：約3.2m

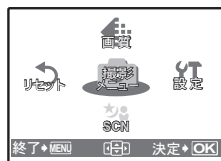
フラッシュモード	説明
（表示なし）オート発光	暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。
赤目軽減	本発光の前に数回の予備発光を行い、目が赤く写ってしまう現象を起こりにくくします。
強制発光	フラッシュを必ず発光させます。
発光禁止	暗いところでも発光させたくないときに使用します。

カメラが動作を停止したときは

- 撮影モードで電源を入れたまま約3分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐためにスリープモード（待機状態）になり、カメラは動作を停止します。ズームボタンやシャッターボタンなどを操作するとカメラはすぐに動作を再開します。
- スリープモードに入ってから約15分後には自動的にレンズが収納され、電源が切れます。もう一度電源を入れ直してください。
- カメラを長時間使用を続けると、カメラの内部温度が上がり、自動的に動作を停止する場合があります。電池を取り出して、カメラが冷えるまでしばらくお待ちください。また、使用中にカメラの外側の温度も上がりますが、故障ではありません。

メニューと表示

トップメニュー

❶ MENUボタンを押すと、トップメニューが表示されます。

撮影モードのトップメニュー

❷ 十字ボタン（△▽◁▷）を使って選択し、OK/FUNCを押して設定します。

■ **画質**
撮影する画像の画質を用途に合わせて設定します。

■ **リセット**
変更した撮影機能の設定を初期設定に戻します。

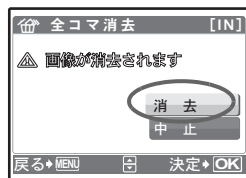
■ **撮影メニュー**
撮影に関するいろいろな設定を行うことができます。

■ **設定**
日時設定や言語設定、操作音などの設定を行うことができます。

■ **SCN（シーン）**
SCNモードのとき、被写体や撮影状況に合った撮影シーンを選択できます。

すべての画像を消去する

❶ 再生モードのトップメニューから［消去］▶［全コマ消去］の順に選択し、OK/FUNCを押します。

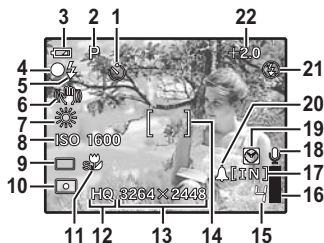
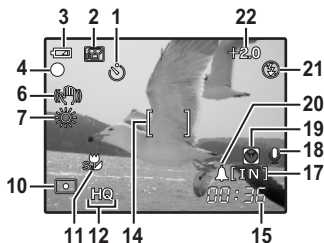
❷ ［消去］を選択し、OK/FUNCを押します。
- すべての画像が消去されます。

使用する言語を選択する

液晶モニタのメニュー表示やエラーメッセージを日本語でなく、他の言語にすることができます。

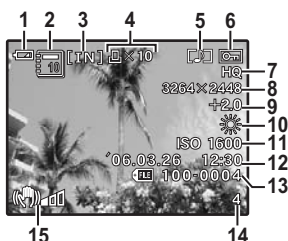
❶ トップメニューから［設定］▶［言語］の順に選択し、OK/FUNCを押します。

❷ 表示したい言語を選択し、OK/FUNCを押します。

液晶モニタの表示

●撮影モード

静止画

ムービー

	項目	表示例
1	セルフタイマー	
2	撮影モード	AUTO、P、、、、など
3	電池残量	（撮影可）、（充電してください）
4	緑ランプ	○（ピント固定：フォーカスロック）
5	フラッシュ発光予告 フラッシュ充電	点灯 点滅
6	ぶれ軽減モード	
7	ホワイトバランス	、、、1～3
8	ISO感度	ISO 64～ISO 3200
9	ドライブ	、
10	スポット測光	
11	マクロ スーパーマクロ	
12	画質	SHQ、HQ、SQ1、SQ2、SQ
13	画像サイズ	3264 × 2448、2560 × 1920、640 × 480 など
14	AFターゲットマーク	[ ]
15	撮影可能枚数 撮影可能時間	4 00:36
16	メモリゲージ	、、、（撮影できません）
17	使用メモリ	［IN］（内蔵メモリ）、［xD］（カード）
18	録音	
19	デュアルタイム	
20	アラーム	
21	フラッシュモード	、、
22	露出補正	-2.0～+2.0

●再生モード

静止画

ムービー

	項目	表示例
1	電池残量	（再生可）、（充電してください）
2	アルバム	
3	使用メモリ	[IN]（内蔵メモリ）、[xD]（カード）
4	プリント予約・枚数 ムービー	×10
5	録音	
6	プロテクト	
7	画質	SHQ、HQ、SQ1、SQ2、SQ
8	画像サイズ	3264 × 2448、2560 × 1920、640 × 480など
9	露出補正	-2.0～+2.0
10	ホワイトバランス	WB AUTO、、、、1～3
11	ISO感度	ISO 64～ISO 3200
12	日時	'06.03.26　12:30
13	ファイル番号	100-0004
14	コマ番号 再生時間／録画時間	4 00:00／00:36
15	手ぶれ表示	

インデックス再生

画像を再生中に、複数の画像を一覧表示（インデックス再生）します。

1 ズームボタンのW側を押します。

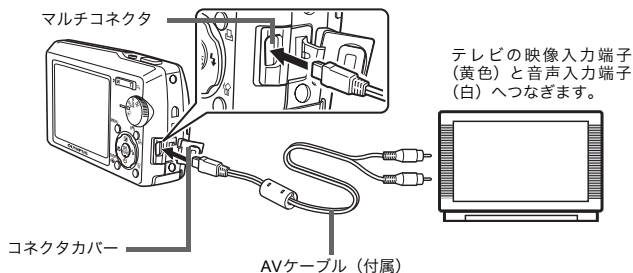
- 十字ボタン（△▽◁▷）で再生する画像を選択して OK/FUNC を押すと、その画像が1コマ再生されます。
- さらにズームボタンを押して、インデックス分割数を4分割、９分割、16分割、25分割に変更することができます。

インデックス再生

カメラと接続する

テレビで再生する

付属のAVケーブルでテレビに接続して画像を再生します。静止画とムービーの両方の再生ができます。

❶ カメラとテレビの電源を切り、付属のAVケーブルでカメラのマルチコネクタとテレビのビデオ入力端子を接続します。

❷ テレビの電源を入れてビデオ入力に設定します。

- ビデオ入力の設定方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

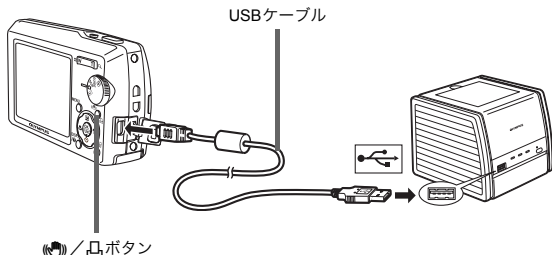
❸ モードダイヤルを▶に合わせ**POWER**ボタンを押して、カメラの電源を入れます。

- 最後に撮影した画像がテレビに表示されます。表示する画像を選択するには、十字ボタン（△▽◁▷）を押します。

ダイレクトプリント（PictBridge）

付属のUSBケーブルで、カメラをOLYMPUS P-11などのPictBridge対応プリンタに接続します。

❶ 再生モードでプリントしたい画像を表示します。

❷ プリンタの電源を入れてカメラに付属の USB ケーブルでカメラのマルチコネクタとプリンタのUSBポートを接続します。

❸ ／ボタンを押します。

- プリントが開始されます。
- 終了するときは、画像選択の画面が表示された状態でカメラからUSBケーブルを抜きます。

OLYMPUS Masterについて

OLYMPUS Masterは、デジタルカメラで撮影した画像を編集／管理するためのソフトウェアです。簡単な操作で、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンでお楽しみいただけます。
OLYMPUS Masterのさまざまな機能や使い方については、OLYMPUS Masterをインストールして「ヘルプ」または取扱説明書（PDFファイル）をご覧ください。

●動作環境について

OS	Windows 98SE/Me/2000 Professional/XPまたはMac OS X（10.2以降）
CPU	Pentium III 500MHz以上またはPower PC G3 500MHz以上
RAM	128MB以上（256MB以上を推奨）
ハードディスク容量	300MB以上
コネクタ	USBポート
モニタ	1024 × 768ドット以上、65,536色以上（Windows）、32,000色以上（Macintosh）

新たにリリースされるOSへの対応などについては、オリンパスホームページ（http://www.olympus.co.jp）でご確認ください。

●OLYMPUS Master Plusアップグレードのご案内

「OLYMPUS Maser」のメインメニューの「アップグレード」ボタンからOLYMPUS Master Plusをご購入いただくことができます。ご購入には、OLYMPUS Masterをインストールしたパソコンでインターネットに接続できる環境が必要です。

ユーザー登録をしましょう

OLYMPUS Masterをインストールしたら、カメラのユーザー登録をしましょう。ユーザー登録すると、オリンパスよりソフトやファームウェアのアップデートのお知らせが届きます。

仕様

●カメラ

形式　：デジタルカメラ（記録・再生型）

記録方式

　静止画　：デジタル記録、JPEG（DCF準拠）

　対応規格　：Exif 2.2、DPOF、PRINT Image Matching III 、PictBridge

　静止画音声　：Waveフォーマット準拠

　動画　：QuickTime Motion JPEGに準拠

記録媒体　：内蔵メモリ
xD-ピクチャーカード（16MB～1GB）

記録コマ数（内蔵メモリ使用時）

静止画（音声なし）

画質	画像サイズ	撮影可能枚数
SHQ	3264 × 2448	7 枚
HQ		14 枚
SQ1	2560 × 1920	23 枚
	2304 × 1728	29 枚
	2048 × 1536	37 枚
SQ2	1600 × 1200	45 枚
	1280 × 960	69 枚
	1024 × 768	107 枚
	640 × 480	165 枚

ムービー

画質	画像サイズ	撮影可能時間
SHQ	640 × 480（30 コマ／秒）	16 秒
HQ	320 × 240（30 コマ／秒）	43 秒
SQ	160 × 120（15 コマ／秒）	5 分 41 秒

カメラ部有効画素数　：804万画素

画像素子　：1/1.8型CCD（原色フィルター）

レンズ　：オリンパスレンズ7.4～22.2mm、F2.8～4.7
（35mmフィルム換算35～105mm相当）

測光方式　：撮像素子によるデジタルESP測光方式、スポット測光

シャッター　：4～1/1000秒

撮影範囲　：0.6m～∞（W・T）（通常）
0.3m～∞（W）0.5m～∞（T）（マクロ時）
0.1m～0.6m（Wのみ）（スーパーマクロ時）

液晶モニタ　：2.5型（インチ）TFTカラー液晶、23万画素

フラッシュ充電時間　：約5秒（フル充電された新品電池を使用し、常温下において、フル発光後の充電時間を測定）

コネクタ	： DC入力端子／USB端子／AV出力端子(マルチコネクタ)
自動カレンダー機能	： 2000～2099年の範囲で自動修正
生活防水	
種類	： JIS保護等級4相当（当社試験方法による）
意味	： いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響のないもの
使用環境	
温度	： 0～40℃（動作時）／-20～60℃（保存時）
湿度	： 30～90%（動作時）／10～90%（保存時）
電源	： 専用リチウムイオン電池（当社製LI-12B）1個 または専用ACアダプタ
大きさ	： 幅97mm × 高さ56mm × 厚さ22.7mm※ ※レンズ部 （突起部を除く）
質量	： 145 g（電池／カード別）

●リチウムイオン充電池LI-12B

形式	： 充電式リチウムイオン電池
公称電圧	： DC3.7V
公称容量	： 1230mAh
充放電回数	： 約300回（使用する条件により異なります。）
使用環境	
温度	： 0～40℃（充電時）／-10～60℃（動作時）／ 0～30℃（保存時）
大きさ	： 32 × 46 × 10mm
質量	： 約30g

●充電器LI-10C

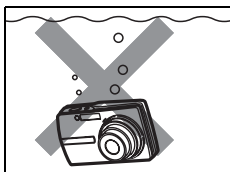
定格入力	： AC100～240V（50／60Hz） 11VA（100V）～17VA（240V）
定格出力	： DC4.2V、860mA
充電時間	： 約120分
使用環境	
温度	： 0～40℃（動作時）／-20～60℃（保存時）
大きさ	： 46 × 36.5 × 85mm
質量	： 約70g

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

生活防水について

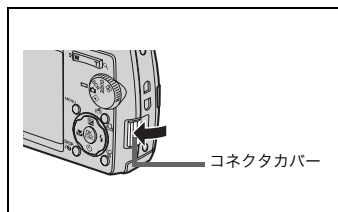
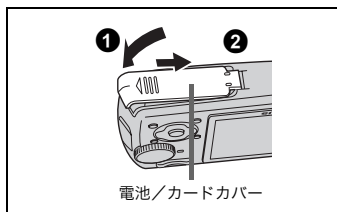
本製品は、生活防水機能をもっていますが、水中で使用することはできません。お客様の誤ったご使用方法での浸水による故障は、保証対象外となりますのでご注意ください。
（生活防水：JIS保護等級4相当（当社試験方法による）に該当し、いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響を受けないことをいいます。）
以下の点を守り正しくご使用ください。

● 水で洗わないでください。

● 水の中に落とさないでください。

● 水中での撮影はできません。

電池／カードカバー、コネクタカバーが浮き上がっている場合は浸水の原因になりますので、しっかりと閉めてください。

電池／カードカバー

コネクタカバー

● 水しぶきなどを浴びてカメラに水滴がついた場合は、早めに乾いた布などで水滴をふき取ってください。
● 本製品の付属品（充電池など）は生活防水ではありません。

ご使用の前に、この内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

製品の取り扱いについて

⚠ 警告

● **可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない**
引火・爆発の原因となります。

● **フラッシュを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない**

● **カメラで日光や強い光を見ない**
視力障害をきたすおそれがあります。

● **幼児、子供の手の届く場所に放置しない**
以下のような事故が発生するおそれがあります。
- 誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす。
- 電池などの小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
- 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
- カメラの動作部でけがをする。

● **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない**
火災・感電の原因となります。

● **フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない**

● **連続発光後、発光部分に手を触れない**
やけどのおそれがあります。

● **分解や改造をしない**
感電・けがをするおそれがあります。

● **内部に水や異物を入れない**
火災・感電の原因となります。
万一水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

● **通電中の充電器、充電中の電池に長時間触れない**
充電中の充電器や電池は、温度が高くなります。また別売のACアダプタを長時間ご使用の場合にも、本体の温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。

● **専用の当社製リチウムイオン電池と充電器以外は使用しない**
発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。

⚠ 注意

● **異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常を感じたときは使用を中止する**
火災・やけどの原因となることがあります。
やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください。
（電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。）

● **濡れた手でカメラを操作しない**
故障・感電の原因となることがあります。また、ACアダプタの抜き差しは、濡れた手では絶対しないでください。

● **カメラをストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する**
けがや事故の原因となることがあります。

● **高温になるところに放置しない**
部品の劣化・火災の原因となることがあります。

● **専用のACアダプタ以外は使用しない**
カメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故が起きる可能性があります。
専用以外のACアダプタの使用により生じた傷害は補償しかねますので、あらかじめご了承ください。

● **ACアダプタのコードを傷つけない**
ACアダプタのコードを引っ張ったり、継ぎ足したりは絶対にしないでください。必ず電源プラグを持って、抜き差しを行ってください。
以下の場合はただちに使用を中止し、販売店、当社修理センターまたはサービスステーションにご相談ください。
- 電源プラグのコードが熱い、焦げ臭い、煙が出ている。
- ACアダプタのコードに傷、断線、または電源プラグに接触不良がある。

電池についてのご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによるやけどやけがを避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 危険

● **火の中に投下したり、加熱しない**
発火・破裂・火災の原因となります。

● **（+）（–）端子を金属類で接続しない**

● **電池と金属製のネックレスやヘアピンを一緒に持ち運んだり、保管しない**
ショート、発熱し、やけど・けがの原因となります。

● **直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しない**
液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となります。

● **直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない**
端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。

● **電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない**
火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。

● **電池の液が目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。**

⚠ 警告

- **水や海水などにつけたり、端子部を濡らさない**
- **濡れた手で触ったり持ったりしない**
  感電・故障の原因となります。
- **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する**
  火災・破裂・発火・発熱の原因となります。
- **外装にキズや破損のある電池は使用しない**
  破裂・発熱の原因となります。
- **電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない**
  破裂・液漏れの原因となります。
- **カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない**
- **液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合は、使用を中止する**
  火災・感電の原因となります。
  販売店または当社サービスステーションにご相談ください。
- **電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。**

⚠ 注意

- **電池を使ってカメラを長時間連続使用した後は、すぐに電池を取り出さない**
  やけどの原因となることがあります。
- **長期間使用しない場合は、カメラから電池を外しておく**
  液漏れ・発熱により、火災・けがの原因となることがあります。

充電器についてのご注意

⚠ 危険

- **充電器を濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない**
  故障・感電の原因となります。
- **充電器を布などで覆った状態で使用しない**
  熱がこもってケースが変形したり、火災・発火・発熱の原因となります。
- **充電器を分解・改造しない**
  感電・けがの原因となります。
- **充電器は指定の電源電圧で使用する**
  指定以外の電源電圧を使用すると、火災・破裂・発煙・発熱・感電・やけどの原因となります。

⚠ 警告

- **コンセントからの抜き差しは、必ず充電器本体を持つ**
  充電器本体を持たないと、火災・感電の原因となることがあります。
  以下の場合はすぐに使用を中止し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。
  - 電源プラグが熱い、焦げ臭い、煙が出ている。
  - 電源プラグに接触不良がある。

⚠ 注意

- **お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う**
  電源プラグを抜かないで行うと、感電・けがの原因となることがあります。

その他のご注意

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
飛行機内では、離発着時のご使用をお避けください。
本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI基準の限界値を超えることが考えられます。必ず、付属のケーブルをご使用ください。

商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
MacintoshおよびAppleは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
xD-ピクチャーカード™は商標です。
その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

Web版 取扱説明書

オリンパスホームページにて作例写真を使った撮影テクニックを紹介しています。
http://www.olympus.co.jp/jp/imsg/webmanual/

OLYMPUS®

オリンパスイメージング株式会社
〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

● **ホームページによる情報提供について**

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。
オリンパスホームページ **http://www.olympus.co.jp/** から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● **製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）**

フリーダイヤル **0120-084215**

携帯電話・PHSからは0426-42-7499

FAX　0426-42-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

※ カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間、最新情報についてはオリンパスホームページにて情報提供しております。
オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から
「お客様サポート」のページをご参照ください。

● **修理に関するお問い合わせ・修理品ご送付先（修理センター）、国内サービスステーション（修理窓口）につきましては、本製品に同梱の「オリンパス代理店リスト」、またはオリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。**

※ 記載内容は変更されることがあります。最新情報はオリンパスホームページ
http://www.olympus.co.jp/ をご確認ください。

Printed in Japan
1AG6P1P3004--
VH356101